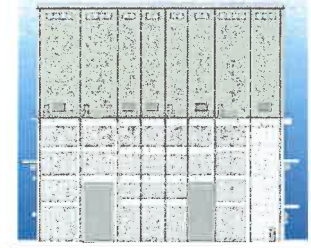


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三洋製紙株式会社 木質・RPF等混	階数	地上7F
建設地	鳥取県鳥取市古市字西ノ田215-1他	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年11月20日
敷地面積	40,177㎡	作成者	濱崎 奈央子
建築面積	968㎡	確認日	2023年11月28日
延床面積	2,646㎡	確認者	松岡 秀直



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 95%
 ③上記+②以外の: 95%
 ④上記+: 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	主用途が工場	その他
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ☆☆☆の材料の採用	F	
注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 1人当たりの執務スペースが12㎡以上を確保		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される